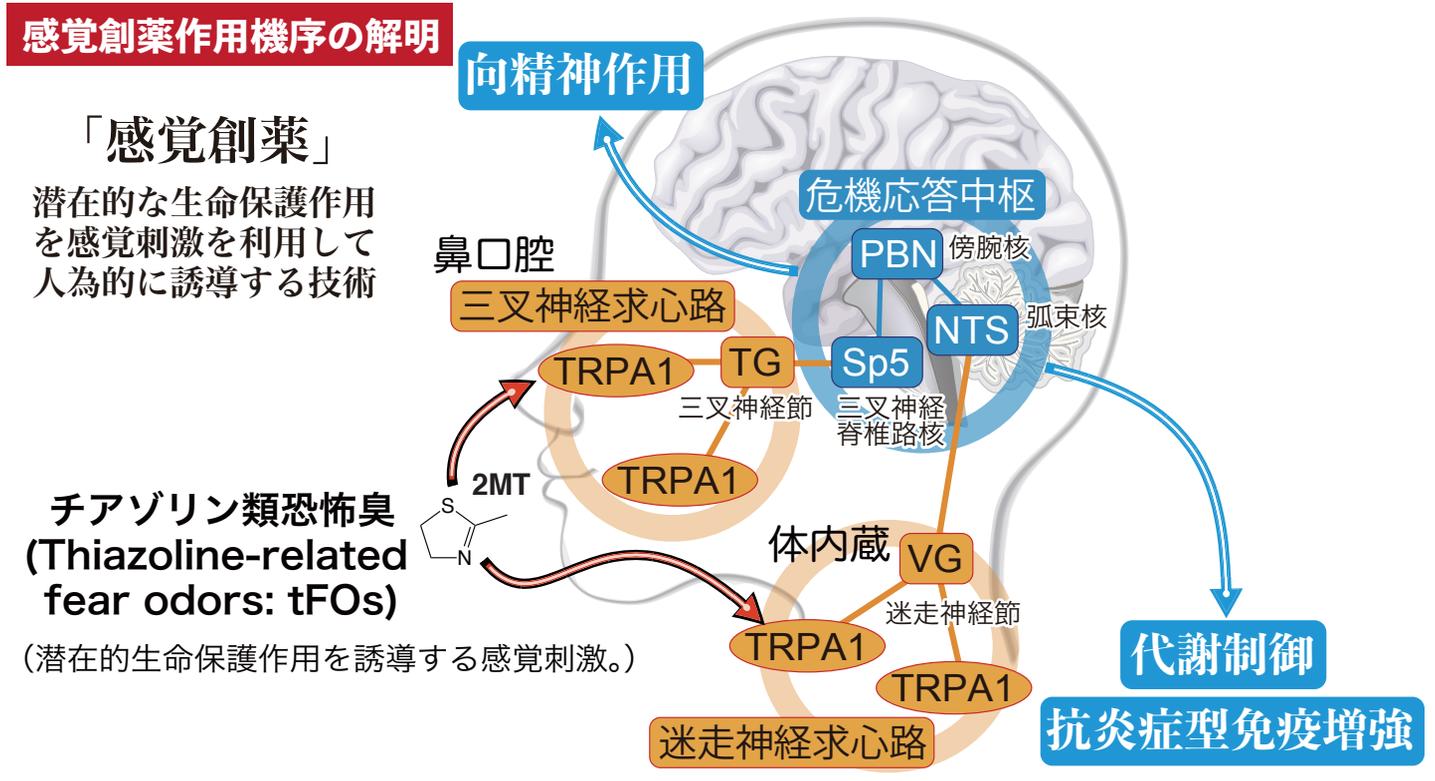


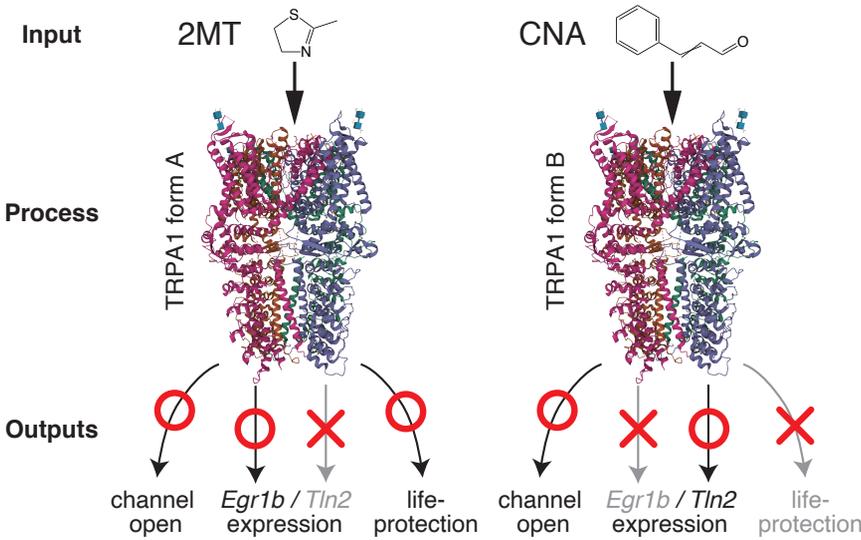
感覚創薬技術のヒト臨床実用化への理論基盤

関西医科大学附属生命医学研究所 小早川高



TRPA1 受容体が多様な出力を誘導する原理解明

霊長類の危機応答中枢の解明



生物は潜在的な生命保護能力を持つが、これらの人為的な誘導技術は未開発である。強力な先天的恐怖行動を誘導するチアゾリン類恐怖臭は三叉・迷走神経の TRPA1 を介し脳幹 - 中脳にある危機応答中枢を活性化することで、低酸素抵抗性や抗炎症型免疫増強作用を統合誘導し、致死的な病態モデルでの治療効果を発揮した。TRPA1 受容体がアゴニストの種類に応じ多様な生理応答を誘導する原理や、霊長類モデルでの危機応答中枢の作動原理の解明など、感覚創薬技術の作用機序の理解を進め、ヒト治療技術の実用化を目指す。